

12. 胆道がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
					体外照射	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 消化器内科	19	5	状況	×	○	○	×	乳頭部腫瘍には内視鏡的乳頭切除術を、胆道癌に対してはEUS及び経口的胆道スコープによる範囲診断を行い、外科切除を第一選択としています。切除不能症例に対しては患者の状態に応じて化学療法及び放射線化学療法を使い分けています。	ア	<a href="http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html">http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	あり	あり	なし		イ	<a href="http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-content">http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-content</a>	掲載あり	掲載あり	掲載なし
2 消化器外科	11	3	状況	○	○	×	×	切除可能症例は原則外科的切除としている。肝門部胆管癌では、術前門脈塞栓術にて残肝容量を増大させることで、手術適応の拡大と安全性の確立を目指している。術後はGEMまたはS-1ベースの補助化学療法も導入している。	ア	<a href="http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html">http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/index.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	なし		イ	<a href="http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-content">http://www.kitano-hp.or.jp/section/shokaki_center/cureIndex-content</a>	掲載あり	掲載あり	掲載なし
3 放射線科	8	2	状況	×	×	○	×	放射線治療とは、臓器を守りながら「がん細胞」に放射線を照射し、縮小させる治療法のことです。様々な療法がありますが、各診療科医師と協同してその時に最適な放射線治療を行うようにしております。	ア	http://			
			実績	なし	なし	あり	なし		イ	http://			
4			状況						ア	http://			
			実績						イ	http://			
5			状況						ア	http://			
			実績						イ	http://			

例: 胆管がん、胆嚢がん 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん	昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日
---------------------------------	------------------------------------